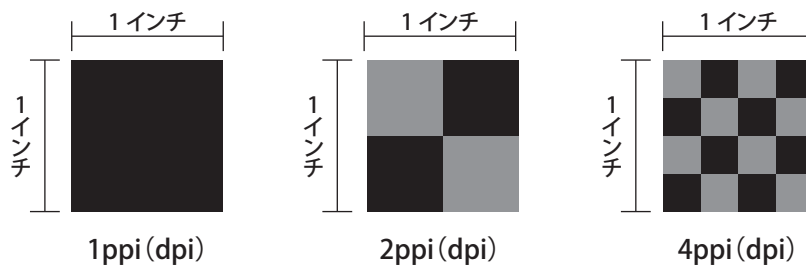


画像解像度とピクセル

ビットマップデータでは、画像の精細度は、単位面積あたりのピクセル数で表示される。
ピクセル数が十分でないと、大きく表示したり印刷したりした時に、画像が粗く見えてしまう。
素材画像には、最終的に表示させたいサイズより大きなピクセル数を持つ画像が必要である。

ピクセルの大きさ



画像解像度とは

画像解像度とは、デジタル画像のきめ細かさ。画像の精度を表すときに使われる。
解像度の単位は ppi(ピー・ピー・アイ。ピクセルパーインチの略) や、dpi(ディー・ピー・アイ。ドットパーインチの略)。
いずれも 1 インチあたりにいくつの点(ピクセルまたはドット)が入るかです。解像度が高いとデータのサイズが大きくなるため、用途に応じて編集し、最適化を行う。

- ・ 印刷用のデータ 300 ～ 350ppi(dpi) ※商業印刷の場合の例。紙面内容や用途により変わる。
- ・ Web 用のデータ 72ppi(dpi)

「画像解像度」と「画面(モニター)解像度」は、言葉は似ているが内容が異なるので注意。

カラーモード

印刷 CMY(K) 色の三原色(色インク)
Web RGB 光の三原色(モニター)

色の表示形式(RGB の場合)



写真画像を拡大すると、ピクセル毎に色が塗られていることがわかる。画像ファイルを開き、拡大縮小してピクセルを実感しよう。

